

-----8月18日----- 2025年

※ 今週のアウトlook(8/18~8/23)

先週は各通貨ペアともに、概ね狭いレンジ内での動きとなりました。
9月のFRBでの利下げ観測が強まり米ドル売り傾向にあるものの
CPIの動向などから50bpの大幅利下げの可能性は弱まり、
債券利回りは上昇しています。

今週はトランプ大統領とプーチン大統領の会談で、ウクライナ停戦合意が
得られれば、ユーロ上昇の可能性が高まりそうです。

先週ドル円は、146円台から148円付近までの狭いレンジ内での動きとなりました。
9月のFOMCでの利下げは既に織り込まれているようです。

今週は、146円付近のサポートラインを割り込んでくるかどうかポイントとなりそうですが、
トランプ大統領とプーチン大統領の会談で何らかの成果が得られれば、
ドル売りがもう一段進む可能性はありそうです。

ドル円の予想レンジは144円から149円です。

ユーロドルは幾分上昇傾向にはありますが、1.17付近のレジスタンスに阻まれている状況です。
今週は、トランプ大統領とプーチン大統領の会談で何らかの成果が得られれば、
1.18付近のレジスタンスをブレイクする可能性は上昇しそうです。

ユーロ円も上昇トレンドは何とか継続しているようですが、
強いレジスタンスに阻まれています。
今週はトランプ会談で成果が得られれば、ブレイクのきっかけとなる可能性はありそうです。

ユーロ円の予想レンジは169円から177円です。

ポンド円は200円台まで一度は上昇したものの、レジスタンスに阻まれて
199円台前半で週末を迎えました。
ブレイクするポイントとして、トランプ大統領の発言などがキッカケとなる可能性はありそうです。

ポンド円の予想レンジは195円から203円です。

日経225は43,000円台に突入しました。
NYダウも45,000\$台に突入しています。
米国の利下げが織り込み済みとなっているようです。
8/17のトランプ大統領とプーチン大統領の会談に関する続報では、
「ウクライナ戦争について何も成果が得られなかった」
とする報道が多いようです。
今週、この報道がどのように影響するか、まずは状況を見極めたいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。